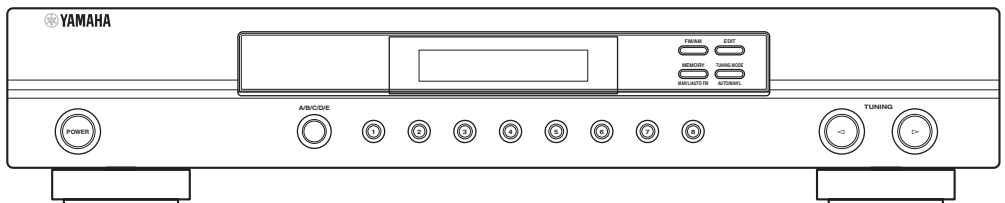


TX-497

取扱説明書



ヤマハチューナー TX-497 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■ 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■ 保証書は、「お買い上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上のご注意




ご使用前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

警告

電源/電源コード



電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。

万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。

必ず実行



下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。
- 異常に高温になる。
- 内部に水や異物が混入した。
- 煙が出る。

プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



本機のPOWERスイッチをオフ(切)にしても、本機は、まだ通電状態にあります。本機を完全に電源から切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。

必ず実行



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステアブルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



必ず実行

必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。修理・調整は販売店にご依頼ください。

設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- 仰向けや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
(本機の周囲に上10cm以上、背面10cm以上のスペースを確保する。)

本機の内部に熱がこもり、火災の原因になります。

使用上の注意



禁止

放熱用の通風孔、パネルのすき間から金属や紙片など異物を入れない。

火災や感電の原因になります。



必ず実行

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



接触禁止

雷が鳴りはじめたら、電源プラグには触れない。感電の原因になります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

手入れ



必ず実行

電源プラグのゴミやほこりは、定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けると、プラグがショートして火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

電源/電源コード



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因になります。



必ず実行

電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因になります。



禁止

電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱および火災の原因になります。

設置



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒して、けがの原因になります。



禁止

直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。



禁止

ほこりや湿気が多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。



必ず実行

屋外アンテナ工事は販売店に依頼する。

工事には、技術と経験が必要です。

移動



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

接続機器が落下や転倒して、けがの原因になります。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

使用上の注意



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

手入れ



必ず実行

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。
また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

メモリーバックアップについて

本機は、プリセットした放送局のメモリーが失われるのを防止する、メモリーバックアップ機能を内蔵しています。ただし、1週間以上電源コードをACコンセントから抜いていた場合や、電源コードをACコンセントに接続していても、電源をオンにしなかった場合、メモリーが失われることがありますのでご注意ください。

目次

はじめに

本機の特長.....	1
付属品を確認する.....	1
各部の名称とはたらき.....	2
前面（フロントパネル）.....	2
フロントパネルディスプレイ.....	3
背面（リアパネル）.....	4

接続

接続のしかた.....	5
FM/AM アンテナを接続する.....	5
プリメインアンプや AV アンプと接続する.....	7

操作

操作する.....	8
電源を入れる.....	8
本機をリモコンで操作する.....	8
選局する.....	9
選局する.....	9
放送局を登録する.....	10
登録した放送局を選んで聴く （プリセット選局）.....	12
登録した放送局を入れ替える.....	13

付録

故障かな？と思ったら.....	14
主な仕様.....	16

本機の特長

- ◆ダイレクト PLL シンセサイザーチューニング
- ◆マルチステータス・ステーションメモリー
- ◆自動（オート）プリセット選局
- ◆プリセット放送局（40 局）簡単呼び出し機能
- ◆プリセット放送局入れ替え機能

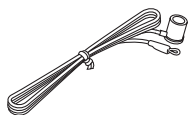
・※ ヒントは知っておくと便利な補足情報を記載しています。

・本書は製品の生産に先がけて印刷されたものです。製品改良などの理由で一部の仕様が本書の記述と異なる場合があります。

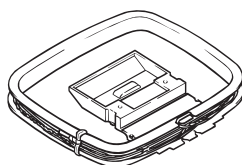
付属品を確認する

同梱されている付属品を確認してください。.

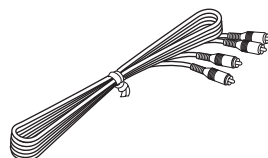
FM 簡易アンテナ



AM ループアンテナ

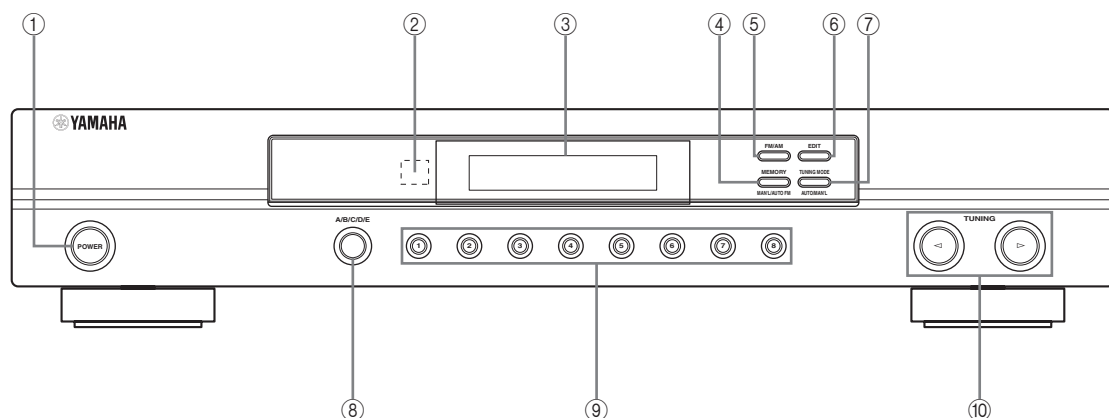


ステレオピンケーブル



各部の名称とはたらき

前面 (フロントパネル)



① ^{パワー} POWER スイッチ

本機の電源を入 / 切します。

② リモコン受光部

ヤマハ製の AV アンプやプリメインアンプに付属しているリモコンからの信号を受信します。

③ フロントパネルディスプレイ

受信している周波数などを表示します (P.3 ページ)。

④ ^{メモリー} MEMORY (^{マニュアル} MAN'L/^{オート} AUTO ^{エフエム} FM) キー

放送局を登録 (プリセット) します (P.10 ページ)。登録した放送局をプリセット放送局といいます。

3 秒以上押し、オートプリセット機能を利用できます (P.10 ページ)。

⑤ FM/AM キー

FM 放送、AM 放送の受信を切り替えます。

⑥ ^{エディット} EDIT キー

プリセット放送局を入れ替えます (P.13 ページ)。

⑦ ^{チューニング} TUNING MODE (^{モード} AUTO/^{オート} MAN'L) キー

自動 (オート) 選局または手動 (マニュアル) 選局を選びます。自動選局する場合は、このキーを押して AUTO インジケータを点灯させます。手動選局する場合は、AUTO インジケータを消します。

⑧ A/B/C/D/E キー

プリセット放送局のグループ (A、B、C、D、E) を選びます。

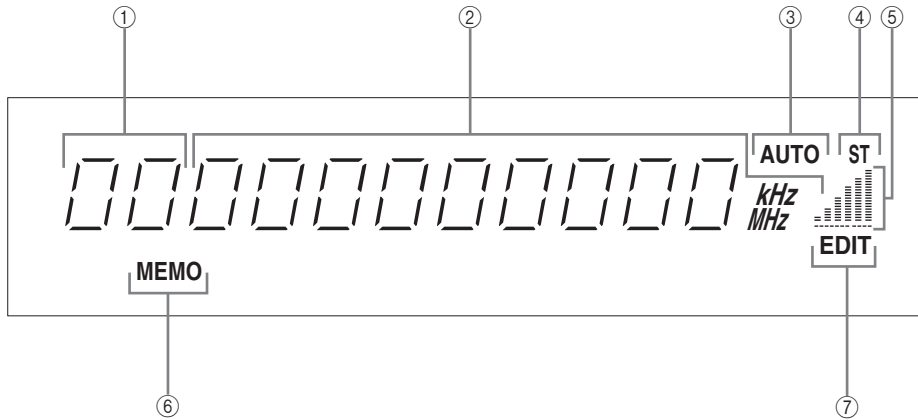
⑨ プリセット番号キー

プリセット放送局の番号 (1 ~ 8) を呼び出します。

⑩ ^{チューニング} < TUNING > キー

受信する周波数を選びます。表示されている周波数よりも低い周波数を選ぶときは < を、高い周波数を選ぶときは > を押します。

フロントパネルディスプレイ



① プリセットインジケータ

選んだプリセット放送局のグループ (A、B、C、D、E) と番号 (1 ~ 8) を表示します。

② 周波数インジケータ

FM または AM 放送の周波数を表示します。

③ ^{オート}AUTO インジケータ

自動 (オート) で放送局を選んでいるときに点灯します。

④ ^{ステレオ}ST (Stereo) インジケータ

自動 (オート) で放送局を選んでいるときに、電波の強い FM ステレオ放送を受信すると点灯します。

⑤ シグナルクオリティインジケータ

受信している電波の強さを表示します。強い電波を受信しているときにはインジケータの本数は多く表示され、電波が弱いときには少なく表示されます。

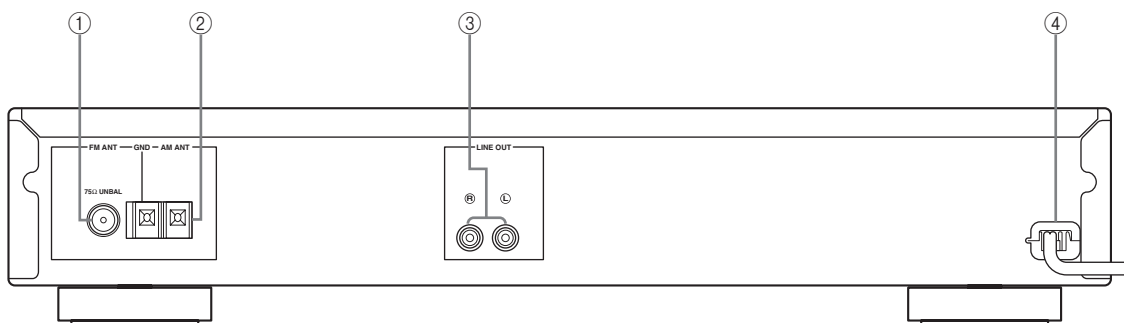
⑥ ^{メモリー}MEMO (Memory) インジケータ

フロントパネルの MEMORY キーを押すと約 5 秒間点滅します。MEMO インジケータ点滅中に、フロントパネルの A/B/C/D/E キーとプリセット番号キーを押して、表示されている放送局を本機のメモリーに登録します。

⑦ ^{エディット}EDIT インジケータ

プリセット放送局を入れ替えるときに点滅します。プリセット放送局が正しく入れ替わったときに点灯します。

背面 (リアパネル)



- ① ^{アンテナ} FM ANT (Antenna) 端子
FM アンテナを接続します (P.6 ページ)。
- ② ^{アンテナ} AM ANT (Antenna) 端子
AM アンテナを接続します (P.6 ページ)。
- ③ ^{ライン アウト} LINE OUT 端子
プリメインアンプや AV アンプなどと接続します (P.7 ページ)。
- ④ 電源コード
AC コンセントに差し込みます (P.7 ページ)。

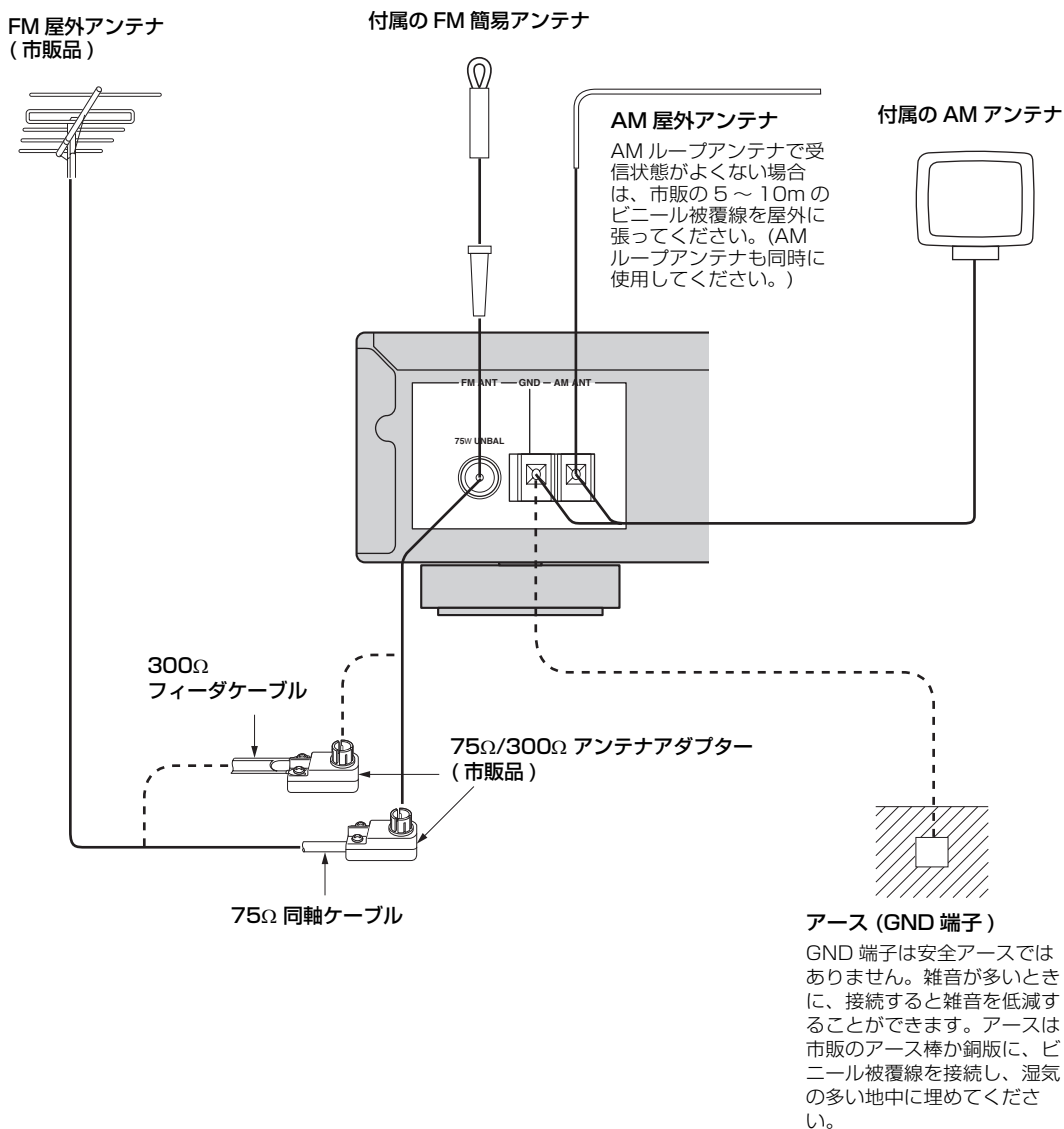
接続のしかた

重要

すべての接続が終わるまで本機や本機に接続した機器の電源コードを AC コンセントに差し込まないでください。

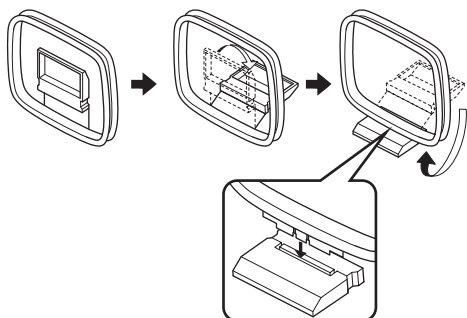
FM/AM アンテナを接続する

本機には、AM ループアンテナと FM 簡易アンテナが付属しています。放送局からの電波が強く、電波をさえぎる障害物などがない場合は、これらのアンテナで良好な受信状態を得ることができます。下図を参考にして、両方のアンテナを正しく取り付けてください。

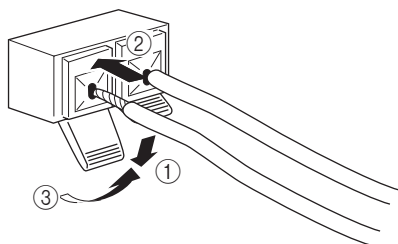


■ AM ループアンテナを接続する

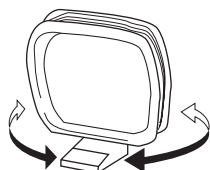
1 アンテナをアンテナスタンドに取り付ける



2 AM ANT 端子と GND 端子のレバーを押し下げ、AM ループアンテナのコードを AM ANT 端子と GND 端子に差し込んだら、レバーを引き上げてロックする



3 アンテナを左右にまわして、受信状態が最も良くなる方向へ向ける

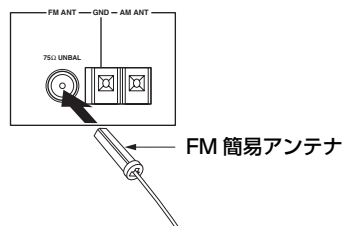


ご注意

- ・ AM ループアンテナは本機から離して設置してください。
- ・ 屋外アンテナを設置した場合でも、AM ループアンテナは必ず接続しておいてください。
- ・ 放送を良好に受信するには、屋外アンテナを設置することをおすすめします。詳しくは、本機をお買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ FM 簡易アンテナを接続する

FM 簡易アンテナの四角いほうの端を FM ANT 端子に接続する

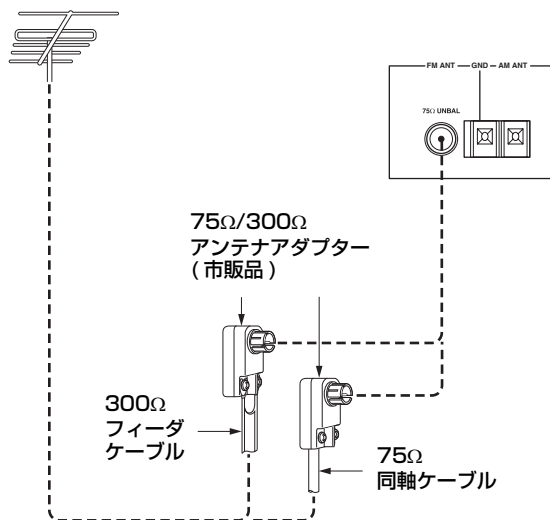


ご注意

- ・ FM 屋外アンテナを接続した場合は、FM 簡易アンテナは接続しないでください。
- ・ 放送を良好に受信するには、屋外アンテナを設置することをおすすめします。詳しくは、本機をお買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ FM 屋外アンテナを接続する

FM 放送を良好に受信するには、屋外アンテナを設置することをおすすめします。屋外アンテナを設置するには、アンテナの同軸ケーブルを市販のアンテナアダプターを使って FM ANT 端子に接続します。詳しくは、屋外アンテナをお買い求めの販売店にお問い合わせください。



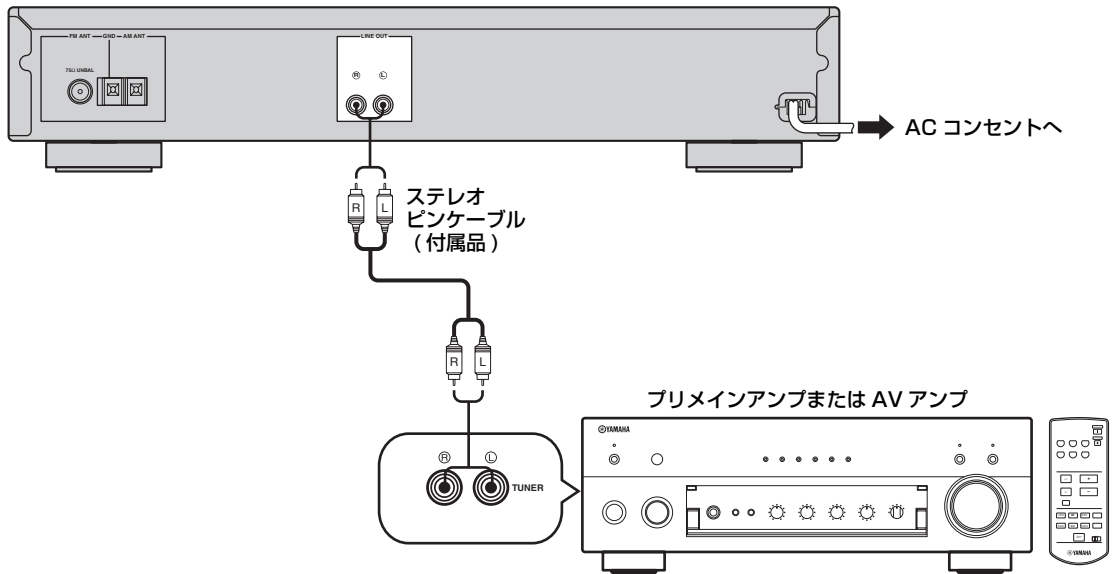
プリメインアンプや AV アンプと接続する

重要

すべての接続が終わるまで本機や本機に接続した機器の電源コードを AC コンセントに差し込まないでください。

ご注意

LINE OUT 端子の左 (L) 右 (R) をよく確認して、プリメインアンプまたは AV アンプの音声入力端子に接続してください。

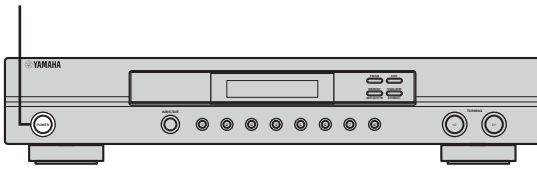


操作する

電源を入れる

本機の電源を入れます。

POWER スイッチ

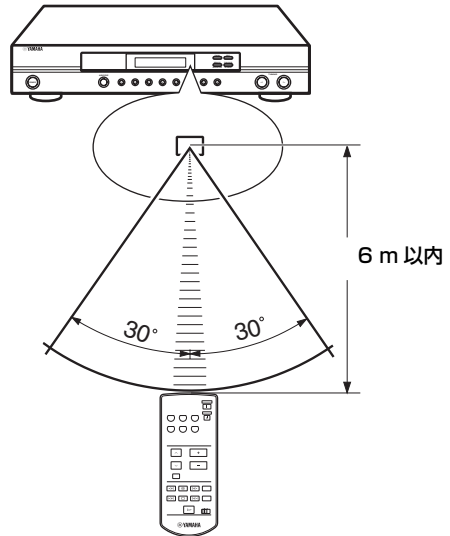


POWER スイッチを押して、本機の電源を入れる



本機をリモコンで操作する

ヤマハ製プリメインアンプまたは AV アンプに付属しているリモコンで、本機を操作できます。



ご注意

- ・本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- ・本機のリモコン受光窓に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）が当たっていると、本機をリモコンで操作できないことがあります。このような場合は、照明の向きを変えるか、本機を置く場所を変えてください。

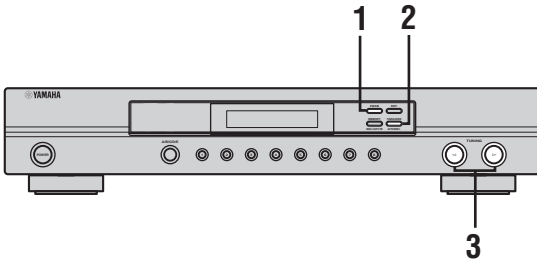
選局する

選局する

選局する方法には、自動的に選局する方法と、手動で選局する方法があります。

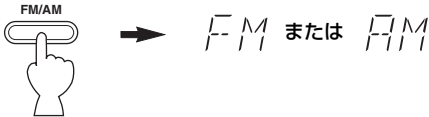
放送局の電波が強く、周りに障害物がないときには、自動選局で放送を受信することができます。

■ 自動（オート）選局



1 FM/AM キーを押して、バンドを選ぶ

フロントパネルディスプレイに「FM」または「AM」と表示されます。



2 TUNING MODE (AUTO/MAN'L) キーを押す

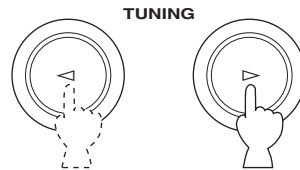
AUTO インジケーターが表示されます。



3 TUNING </> キーを押して、自動で放送局を選ぶ

自動選局を開始します。

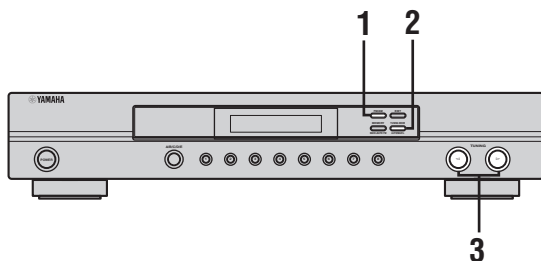
> キーを押すと高い周波数に向かって選局し、< キーを押すと低い周波数に向かって選局します。



放送を受信すると、フロントパネルディスプレイに放送局の周波数が表示されます。別の放送局を受信するには、もう一度 TUNING </> キーを押します。

■ 手動 (マニュアル) 選局

放送局の電波が弱く、自動選局ができない場合は、手動で選局してください。FM 放送を手動で選局すると、ステレオ放送は自動的にモノラルに切り替わります。



1 FM/AM キーを押して、バンドを選ぶ

フロントパネルディスプレイに「FM」または「AM」と表示されます。



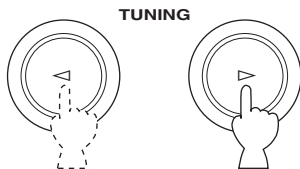
2 TUNING MODE (AUTO/MAN'L) キーを押す

AUTO インジケーターが消灯します。



3 TUNING </> キーを押して、手動で放送局を選ぶ

キーを押し続けると、選局を続けます。



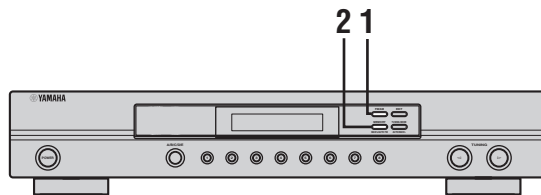
ご注意

- ・FM 放送を選局すると、受信状態を良好にするために、ステレオ放送は自動的にモノラルに切り替わります。
- ・放送を受信すると、フロントパネルディスプレイに放送局の周波数が表示されます。

放送局を登録する

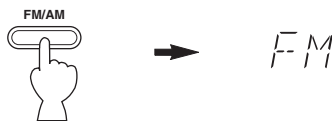
■ FM 放送局を自動登録する (オートプリセット)

受信状態が良好な FM 放送局を自動的に受信し、受信した放送局を 40 局 (8 局 × 5 グループ、A1 ~ E8) まで順番に登録できます。登録した放送局の番号を選択することで、聴きたい放送局を簡単に呼び出すことができます。



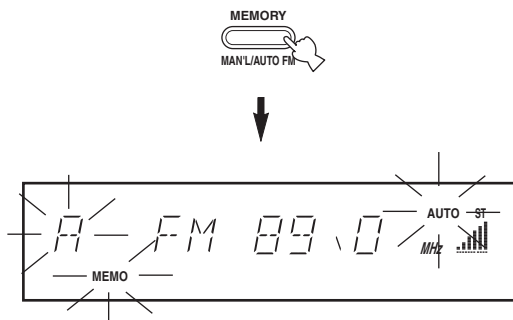
1 FM/AM キーを押して、FM を選ぶ

フロントパネルディスプレイに「FM」と表示されます。



2 MEMORY (MAN'L/AUTO FM) キーを 3 秒以上押し続ける

プリセット番号と MEMO インジケーター、AUTO インジケーターが点滅します。現在表示されている周波数から、周波数が高いほうへ選局を始め、受信した放送局を自動的に登録していきます。

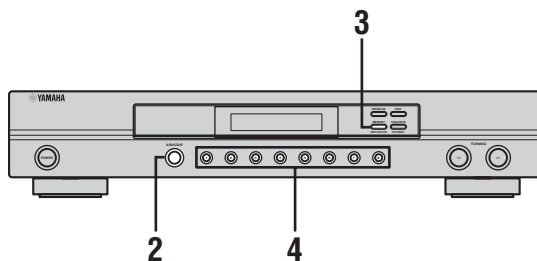


自動登録が終了すると、最後に登録した放送局の周波数がフロントパネルディスプレイに表示されます。

ご注意

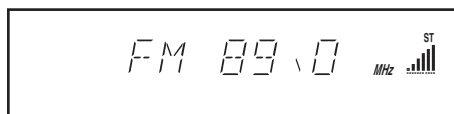
- ・同じプリセット番号に新しい放送局を登録すると、前に登録されていた放送局は消去され、新しい放送局に入れ替わります。
- ・オートプリセットでは、プリセットする放送局の数が 40(A1 ~ E8) に満たない場合には全周波数帯域を一巡して停止します。
- ・オートプリセットでは、電波の強い FM 放送局だけが登録されます。電波の弱い FM 放送局を登録したいときは手動で選局し、マニュアルプリセットで登録してください。
- ・放送局がひとつも受信できない場合、フロントパネルディスプレイに約 3 秒間「NOTHING」と表示され、オートプリセットを終了します。

■ 手動で登録する (マニュアルプリセット)
放送局を 40 局 (A1 ~ E8) まで、手動で登録することもできます。



1 プリセットしたい放送局を選ぶ

詳しくは 9 ページをご覧ください。

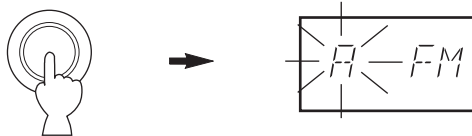


放送局を受信すると、フロントパネルに受信した放送局の周波数が表示されます。

2 A/B/C/D/E キーを繰り返し押し続けて、プリセットグループ (A ~ E) を選ぶ

フロントパネルディスプレイにプリセットグループ (A ~ E) が表示されます。

A/B/C/D/E

3 MEMORY (MAN'L/AUTO FM) キーを押す
MEMO インジケーターが約 5 秒間点滅します。

- 4 MEMO インジケータの点滅中に、登録したいプリセット番号キー (1 ~ 8) を押す



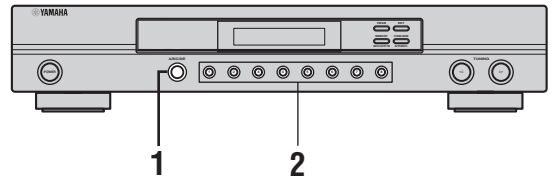
- 5 他の放送局を続けて登録するときは、手順 1 から 4 を繰り返す

ご注意

- ・同じプリセット番号に新しい放送局を登録すると、前に登録されていた放送局は消え、新しい放送局に入れ替わります。
- ・新しい放送局を登録すると、放送局の周波数と受信モード (ステレオ / モノラル) も同時に登録されます

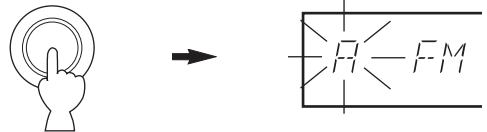
登録した放送局を選んで聴く (プリセット選局)

プリセット番号を選ぶだけで、登録した放送局を選ぶことができます。

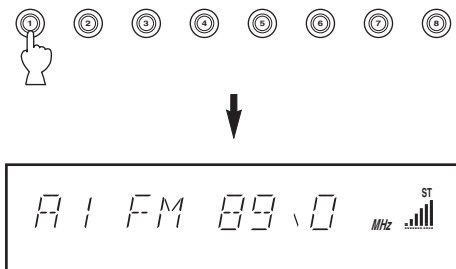


- 1 A/B/C/D/E キーを繰り返し押し、プリセットグループ (A ~ E) を選ぶ
フロントパネルディスプレイにプリセットグループ (A ~ E) が表示されます。

A/B/C/D/E



- 2 プリセット番号キーを押して、プリセット番号 (1 ~ 8) を選ぶ
フロントパネルディスプレイにプリセット番号が放送バンド (AM または FM)、周波数とともに表示されます。

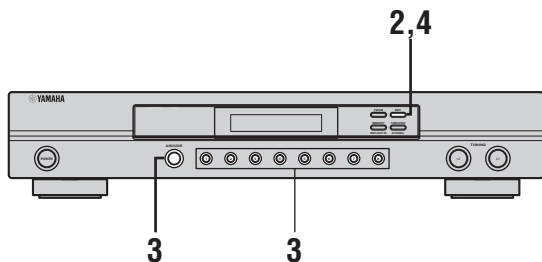


ご注意

自動選局で受信できた放送局が、プリセット選局で受信できない場合があります。

登録した放送局を入れ替える

登録した放送局を入れ替えることができます。ここでは「E1」に登録した放送局を「A5」に、「A5」に登録した放送局を「E1」に変更する場合の手順を説明します。

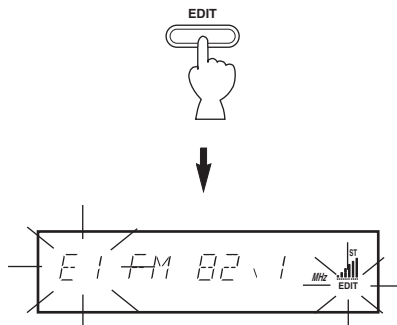


1 「E1」に登録した放送局を選ぶ

詳しくは、左に記載の「登録した放送局を選んで聴く(プリセット選局)」をご覧ください。

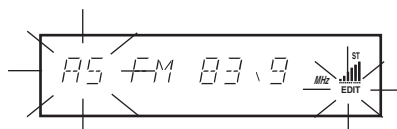
2 EDIT キーを押す

「E1」とEDITインジケータが点滅します。



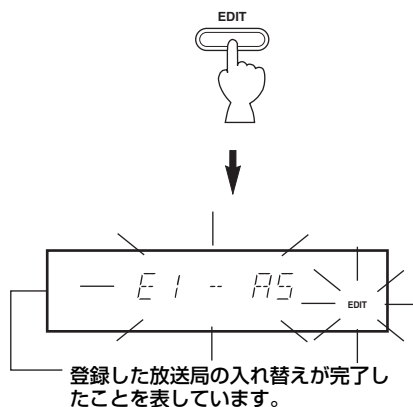
3 「A5」に登録した放送局を、A/B/C/D/E

キーとプリセット番号キーを使って選ぶ
「A5」とEDITインジケータが点滅します。



4 EDIT キーを押す

登録した放送局が入れ替わります。



故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は下記の点をご確認ください。対処しても正常に動作しない場合や、下記以外で異常が認められた場合は、本機の電源を切り、電源プラグを AC コンセントから抜いてからお買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。

■ AM/FM 放送の受信

症状		原因	対策	参照ページ
FM	雑音が入ることがある (とくに電波が弱い地域)	バイクや自動車、サーモスタット付き電気器具などから出る雑音を拾っている。	FM 屋外アンテナを、道路から離れたできるだけ高い位置に設置してください。雑音を出している電気器具を FM アンテナから離してください。同軸ケーブルを使用してください。雑音を出している電気器具に雑音防止器を取り付けてみてください。	—
	ステレオ放送になると雑音が多く聴きづらい	放送局から離れた地域で受信しているか、アンテナ入力弱い。	アンテナの接続を確認してください。	5
			TUNING MODE キーを押して、マニュアル選局をしてください。	10
	ST インジケーターが点滅し、雑音が入る	アンテナ入力不足している。	受信地域の電解強度にあったアンテナを設置してください。	—
		正しく選局されていない。	もう一度選局してください。	9
	FM 専用アンテナを使用しているが、音が歪むなど受信感が悪い	マルチパス(多重反射)などの電波妨害を受けている。	アンテナの高さや方向、設置場所を変えてください。	—
	ステレオ放送なのにモノラル受信になってしまう	手動選局されている。	自動選局してください。	9
自動選局できない	電波が弱く、受信できていない。	FM 専用アンテナを使用してください。	6	
		手動選局してください。	10	
プリセット選局ができない	メモリーが消えてしまった。	放送局を登録しなおしてください。	10	
AM	自動選局できない	電波が弱い、またはアンテナがしっかりと接続されていない。	AM ループアンテナの接続を確認し、最も受信状態が良い方向へアンテナを向けてください。	6
			手動選局してください。	10
	ジー、ザー、ガリガリなどの雑音が出る	雷、蛍光灯、モーター、サーモスタット付きの電気器具などから出る雑音を拾っている。	雑音を出している電気器具を本機から離してください。AM 屋外アンテナを張り、アースを完全に取ると減少しますが、完全に除去するのは困難です。	—
ブンブンという騒音やうなり音が入る	他の放送局からの電波が干渉している。			
	本機の近くでテレビを使用している。	本機とテレビを離して設置してください。	—	

■ 全般

症状	原因	対策
電源を入れてもすぐに切れてしまう	電源コードがしっかり接続されていない。	電源コードを AC コンセントにしっかりと差し込んでください。
	本機が外部電気ショック（落雷または過度の静電気）をうけた。	AC コンセントから電源プラグを抜き、約 30 秒後にもう一度差し込んでください。
ハム音が出る	ステレオピンケーブルがしっかり接続されていない。	ステレオピンケーブルをしっかりと差し込んでください。症状が改善されない場合は、ステレオピンケーブルに問題がないか確認してください。
本機が正常に作動しない	内部マイコンが外部電気ショック（落雷または過度の静電気）、または電源電圧の低下によりフリーズしている。	AC コンセントから電源プラグを抜き、約 30 秒後にもう一度差し込んでください。

主な仕様

オーディオ部

- ・出力レベル / インピーダンス
- FM (100% 変調、1 kHz)..... 900 mV/2.2 k Ω
- AM (30% 変調、1 kHz)..... 150 mV/2.2 k Ω

FM チューナー部

- ・受信周波数 76 ~ 90 MHz
- ・50 dB S/N 感度 (IHF) (1kHz 100% 変調)
- MONO 1.55 μ V (15.1 dBf)
- STEREO 21 μ V (37.7 dBf)
- ・イメージ妨害比..... 40 dB
- ・IF 妨害比..... 70 dB
- ・スプリアス妨害比..... 80 dB
- ・実行選択度 85 dB
- ・S/N 比 (IHF)
- MONO 82 dB
- STEREO 76 dB
- ・歪調 (1 kHz)
- MONO..... 0.1%
- STEREO 0.2%
- ・ステレオセパレーション (1 kHz) 50 dB
- ・周波数特性 (30 Hz ~ 13 kHz) 0 \pm 0.5 dB

AM チューナー部

- ・受信周波数..... 531 ~ 1611 kHz
- ・実用感度..... 200 μ V/m
- ・選択度..... 32 dB
- ・S/N 比..... 50 dB
- ・イメージ妨害比 40 dB
- ・スプリアス妨害比 50 dB
- ・全高調波歪 (1 kHz)..... 0.3%

総合

- ・電源電圧..... AC 100 V 50/60 Hz
- ・消費電力..... 7 W
- ・寸法 (W \times H \times D) 435 x 86 x 271 mm
- ・質量 3.2 kg

* 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただくためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

■ お客様ご相談センター



0570-01-1808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460-3409

FAX (053) 460-3459

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間：10:00～12:00、13:00～18:00

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ ヤマハ電気音響製品修理受付センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

FAX (053) 463-1127

受付日：月～土曜日(祝日およびセンターの休業日を除く)

受付時間：月～金曜日 9:00～19:00 土曜日 9:00～17:30

修理お持ち込み窓口

受付日：月～金曜日(祝日および弊社の休業日を除く)

受付時間：9:00～17:45

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011) 512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03) 5762-2125

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
FAX (053) 462-9244

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052) 652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06) 6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092) 472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

● 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

● 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● 修理料金の仕組み

技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※ 品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品修理受付センターへご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感ずる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

